

1学期も半ば、新着図書も続々と増えています。勉強に部活に忙しい毎日ですが、今学期まだ図書館に足を踏み入れてない生徒のみなさん、ぜひ図書館に立ち寄ってみて下さいね♪

第64回 青少年読書感想文全国コンクール

課題図書を紹介

『一〇五度』 佐藤まどか・著

椅子デザイナーをめざす少年の、爽やかな青春小説です。都内の中高一貫校に編入した真(しん)は、中学3年生。スラックスをはいた女子梨々(りり)と出会い、極秘で「全国学生チェアデザインコンペ」に挑戦することに。中学生としては前代未聞の、この勝負の行方は・・・？
父との確執や、「チームを組む」ことのむずかしさなど、立ちはだかる大きな壁に、迷いながらも自分の進むべき道を見出そうとする少年の姿に、胸があつくなります。
15歳を目前に、大人の階段を一段のぼろうとする少年を、時に叱り、時にあたたかく見守る祖父や、まわりの大人たちのサポートも光ります。

『太陽と月の大地』 コンチャ・ロペス＝ナルバエス著

16世紀スペイン。キリスト教徒の伯爵令嬢マリアと、伯爵家に長年仕え友情を育んできたイスラム教徒の家に生まれた少年エルナンド。ふたりの間には恋が芽生えるが、やがて両家の人々は異なる宗教・民族間の対立に巻き込まれていく。悲惨な戦争の果てに、エルナンドは故郷を追われていく……。
宗教や民族の違いによって引き裂かれ、運命に翻弄される人々を描いた歴史小説。

読書をして
感じ取ったことを
文章にしてみよう!

『千年の田んぼ：国境の島に、古代の謎をおいかけて』 石井里津子著

日本海の荒波に浮かぶ、山口県・見島。この国境の小島に、15ヘクタールもの広大な水田が広がり、なんと約100個もの小さな溜池が点在している。その不思議な光景にひかれて島をおとすれた著者は、取材を重ねるうちにやがてそれが7世紀ごろの中央政府の手による「条里田」(中世に初めて国家事業として区画整備された田んぼ)ではないかと考えるようになる。もし現存する条里田だとすれば、まさに日本最古の田んぼ。
でも、もしそうであれば、なぜそんな国家事業をこの小さな島で? いったい誰の手によるものなのか? 隣接する古墳が意味するものは? 取材を重ね、謎をひとつひとつ解きあかしながら日本人と稲作の深い関わりに迫っていくノンフィクション。

お知らせ

出張のため下記の通り閉館させていただきます。

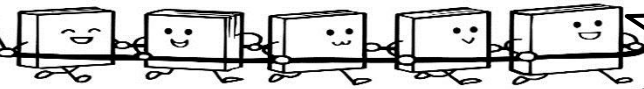
6/4 (月) 1:30~
6/5 (火) 昼休み~
6/6 (水) 1:30~

6/12 (火) 2:30~
6/19 (火) 3:00~

詳しくは図書館入口にてお知らせします。

新しい本が入りました！

NEW



新刊が貸出中の場合は予約をしてください！人気の本は読み終わり次第すみやかに返却してくださいね！

『Caravalカラヴァル』 ステファニー・ガーバー著

“カラヴァル”とは年に一度、世界のどこかで開催される魔法のゲーム。今年の勝者は、一つだけ願いを叶えてもらえるという——

領主の娘として厳しく育てられたスカーレット。父に決められた結婚を数日後にひかえたある日、彼女のもとに、長年の夢だったカラヴァルの招待状が届いた。生まれて初めて島を抜け出し、妹のドナテラと船乗りの青年ジュリアンとともに会場に乗り込む。しかし会場に着いたとたん、ドナテラが姿を消した。不可思議なことばかりが起こる魔法の世界で、スカーレットはドナテラを見つけ出せるのか。

緋色(スカーレット)を名に抱く少女の目の前に広がる、魔法と嘘に満ちた世界。恋に翻弄されながらも、真実を求めて成長する冒険ファンタジー！

『夏の祈りは』 須賀しのぶ著

文武両道の県立北園高校にとって、甲子園への道は遠かった。格下の相手に負けた主将香山が立ち尽くした昭和最後の夏。その十年後は、エース葛巻と豪腕宝迫を擁して戦った。女子マネの仕事ぶりが光った年もあった。そして今年、期待されていないハズレ世代がグラウンドに立つ。果たして長年の悲願はかなうのか。先輩から後輩へ託されてきた夢と、それぞれの夏を鮮やかに切り取る青春小説の傑作。

『青空のむこう』 アレックス・シラー著

「この世」に思いを残したまま死んだ少年が、「この世」にゴーストとなって戻ってくる。友達、家族に思いを伝える術がなかったが、最後に奇跡が起きて「あの世」に旅立ってゆく。

『友だち幻想』 菅野仁著

人付き合いのルールを知り少しの作法を身に付けるだけで、複雑な人間関係の中で必要以上に傷つかず、しなやかに生きられるようになる処方箋のような本！友だちは何よりも大切。でも、なぜこんなに友だちとの関係で傷つき、悩むのだろう。人と人との距離感覚をみがいて、上手に“つながり”を築けるようになろう。「みんな仲良く」という理念、「私を丸ごと受け入れてくれる人がきつ」という幻想の中に真の親しさは得られない！これでもう、「みんな仲良く」のプレッシャーとはさようなら。